

◎事業所概要

◎法人理念

- ・ 幼児、学齢期と早期から社会への対応力を身につけるための適切な療育を提供します
- ・ 成人後の適切な支援を提供します
- ・ 社会からの障がいへの理解を深める活動に取り組みます

◎営業時間

月曜日～土曜日
9時30分～12時00分
13時00分～17時00分

◎主な行事

小集団活動にて季節に合わせた活動メニューを提供する
節分:豆(ボール)投げ
夏:縁日(お金を払って遊ぶ経験)
クリスマス:サンタさんのプレゼント運び(そり引っぱり)など

◎事業所支援方針

児童がさまざまな形で自分を表現することを目標に小集団活動と個別机上課題を通して以下を重視した支援を提供します
①日々の挨拶を大切に
②子ども同士でのコミュニケーションを大切に
③楽しく身体を動かす
④「記憶する」「考える」「判断する」ための認知力を育む
⑤困った時に他者に助けを求める力をつける

◎職員の保有資格

- ・臨床心理士
- ・公認心理師
- ・作業療法士
- ・保育士
- ・教員免許
- ・児童指導員
- ・理学療法士
- ・言語聴覚士

◎送迎の有無、その他

送迎なし

◎児童生徒支援以外の取り組み

✓家族支援

- ・ 保護者への相談援助
〔通園先・子どもとの関わり方・就学先・転園に関する相談等〕
- ・ 支援フィードバックにおける子どもとの関わり方に関するお伝え

✓地域支援・地域連携

- ・ 幼稚園や保育園との連携による包括的支援
- ・ 支援員が通園先へ見学訪問し支援会議を実施する
- ・ 担任の先生による療育見学
- ・ 児童の発達課題に関する意見書の作成
- ・ 保護者向け勉強会

✓移行支援

- ・ 就学に向けて必要な能力の獲得を促す(身辺自立・コミュニケーション・学習等)
- ・ 就学先への意見書の作成

◎5領域との関連

健康・生活

- ・ 検温や行動観察から健康状態を把握し、身体状況を表す言葉を用いて自らの体の状態を伝える事ができる様に支援する。
- ・ 下駄箱、手洗い場の写真による視覚支援など構造化を用いて生活環境を整え、身辺自立を身に付ける。
- ・ 疑似通貨を使用する体験を通して、お金の基本的な概念の理解を促す。

運動・感覚

- ・ 小集団活動での運動プログラムを通して身体を動かし、姿勢保持力と動作の基礎的技能的技能の向上を図る。
- ・ 発達段階に合わせた個別机上課題により、食具や鉛筆を持つために必要な手指の機能を獲得する。

人間関係・社会性

- ・ 同年齢/異年齢での小集団活動や他者との交流を通して、関わり方や人間関係の形成を学ぶ。ソーシャルスキルトレーニング(SST)により、状況理解や気持ちの伝え方を理解する。
- ・ お友達と協力する遊びや、職員とのやり取りを通して、自己の理解(気持ちの理解・調整)と行動のコントロールを促す。

言語・コミュニケーション

- ・ 年齢や発達段階に応じた遊びを通して言葉の形成とコミュニケーション能力の獲得を目指す。
- ・ 職員と一緒にマカトンサインと音声を併用した挨拶や身振り、指差しなどを用いてやり取りをすることでコミュニケーション手段の獲得を目指す。
- ・ 言語聴覚士監修の課題(口形模倣、ボール吹き等)の提供により、言葉で明瞭に伝えられるように口周りの機能の向上を図る。

認知・行動

- ・ 好きな事をテーマにした課題を提供し、就学に向けて読み書きできる平仮名や理解できる数字を増やす。
- ・ 数量、大小、色、形を取り入れた課題の提供や遊びを行い、各概念の習得を目指す。
- ・ 見る力と聞く力を使い、記憶したり理解することを経験する。

◎支援の質の向上を目的とした年間研修計画 ※令和7年4月～

- | | | | |
|----------------|-------|------------|-------|
| ・言語指導者基礎 | (年8回) | ・入社時研修 | (適宜) |
| ・言語聴覚士スキルアップ | (年4回) | ・階層、職種別研修 | (適宜) |
| ・ビジョントレーニングの基礎 | (年1回) | ・虐待、身体拘束防止 | (年3回) |
| ・ビジョントレーニングの応用 | (年3回) | ・感染症予防 | (年2回) |
| ・ケース研修 | (年3回) | ・防災訓練 | (年2回) |